

# カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日乃目

(A)バックオフィス	システム導入	データ活用で進める業務連携
------------	--------	---------------

コースのねらい	所有するデータを経営資源として管理し、活用することで、社内外の業務の連携を強化できることを理解する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 データ活用の基本	(1)ビジネス環境の認識 企業を取り巻く環境変化を共有し、競争力を維持・向上させるための取り組みが重要であること、データ活用を通じた生産性向上がその有効な手段であることを認識します。  (2)データ活用の基礎 データと情報、ナレッジの違いなどを整理したのち、データ活用のサイクルに触れ、データ活用には目的を明確化することが大切であることを学びます。  (3)データ活用の準備 データには数値データと言語データがあることや、日付・数値・文字などの型があることなどについて整理します。データ活用にあたってはデータを構造化したり、欠損データを補完したりといった下準備が必要になることを学習します。	1.00
	2 データマネジメント	(1)データ品質と統制の考え方 正確性・完全性・一貫性・最新性といったデータ品質の観点を学びます。誰がいつ入力し、どの部署が管理するかという統制についてもルール化を検討します。 【演習】自社データ管理状況見える化  (2)データの共有・保管・セキュリティ ファイル共有、クラウド活用、アクセス権管理の基本を整理します。情報漏えいリスクや属人化の問題を踏まえ、安心して共有できる環境づくりを考えます。 【演習】自社データ保管状況棚卸  (3)データの流れの可視化 データの入力から集計、報告までの流れを図解することで、重複入力や非効率な転記作業が見える化し、情報連携のボトルネックを構造的に捉える視点を養います。 【演習】自社データフロー作成	2.50
	3 データ活用と業務の連携	(1)データを使った課題発見と改善 データ分析の手法を学び、業務課題を読み取る方法を学びます。数値の変化を原因と結びつける思考プロセスを体験することで、改善策の仮説を立てる力を養います。 【演習】データ分析と課題抽出  (2)ITツールによるデータ活用 ExceやAIによるデータ分析、BIを使ったデータ見える化、RPAによるデータ連携の自動化等、ITツールを使ったデータ活用の手法について紹介します。  (3)自社での取り組み検討 自社の業務連携のテーマをピックアップし、解決に向けてのロードマップを作成します。 【演習】自社アクションプラン検討	2.50
合計時間			6.00

カリキュラム作成のポイント	・知識の習得はもちろん、演習を通じて、自社への落とし込みについて考えていきます
---------------	---